

馬堀学区「昔遊びとニュースポーツ体験（ボッチャ）」見学

報告者：林 但

1. 日時；2023年1月29日（日）9:00～11:30
2. 場所；体育館、校庭
3. 参加者；40余名（大人と子供が半々くらい、3歳から70歳代？ 体育振興会8名）
4. 日程；
9:00～ 受付（町名ごと）
9:15～ 開会式とボッチャルール説明 チーム分けと試合形式での体験
10:30～ 昔遊び（羽根つき、紙相撲、紙ヒコーキ、紙鉄砲、けん玉、独楽回しなど）
下線あるものは大人よりやり方説明があった。
11:20～11:30 体験の感想と閉会式
5. 目的；ここ10年間くらいで2回？見ているが、改めて昔遊びに着目してみるとボッチャについて確認したく訪問した。
6. 感じた事・気づいたこと・伺ったこと
 - (1) 子供が初めは15人であったが、少し遅れてくる方がポツポツあり20名位。幼児の年齢をお母さんに伺ったら3歳ですとのこと。私はこの子と紙相撲で負けた。
 - (2) 子供が来ているので父母も参加。70歳代？の方々が数名おられたが、こま回しや紙ヒコーキ、けん玉を上手に操る、折り方他を教えてくれるなどあったかい雰囲気。
 - (3) 子供への声掛けは子ども会にお願いした。集まる町内とコロナ感染に配慮されている町内がありそう。
 - (4) 昔遊びは時々内容を変えることもあるが30年以上継続されているとの事。
 - (5) ボッチャではやっているうちにコツを子供たちはつかんだようで、
 - ・はじめはとまどったが面白い、楽しい。笑顔。
 - ・点数が加点できる場面でなぜ手前に投げたの？ と質問をしたら「ここは戦略的に無理しない」
 - ・子供相手のお母さんたちは、「より真剣に投げた」との事。 などの声があった。
 - (6) 町内会でいろいろな用具を買っている町内在り、ララゲッターやグラウンドゴルフ、ビンゴダボール？などいくつか言われた聞き取れない部分あった。
 - (7) ボッチャの審判は推進委員と体振役員がやっていた。やりながら説明する場面あり。楽しさ第一。
 - (8) 閉会式後子供には参加記念品が渡され、みんなにこにこ帰宅された。



ボッチャ説明



けん玉



こま回し ひもの巻き方

7. 最後に
 - (1) 幼児から子どもまで巻き込んだ楽しいイベントだった、30年来の知恵と工夫に感染症の中でも色々配慮しながら取り組まれている。
 - (2) 推進委員の方は協議会など研修会や自分で学ばれたことを付加しながらの進め方であった。
林は「ボッチャの楽しさ」ルール他を紙芝居で説明できないか作成中、機会を作り試す予定です。

以上